

第1号議案 平成30年度事業報告〔案〕

【公益目的事業】

安部榮四郎記念館では、本事業を記念館展示室で行う展示活動、手すき和紙伝習所で行う紙すき体験および館内館外で行うイベントを含む和紙普及活動（ワークショップ）、調査研究活動としている。

平成30年度においては、次のように実施した。

1. 展示活動について

① 常設展示 「安部榮四郎の軌跡と民芸作家作品展」

昭和初期から民芸運動を縁に松江を訪れていた柳宗悦、バーナード・リーチ、河井寛次郎、棟方志功等の作品を展示した。

展示の説明や、展示品のキャプションを海外の方にも分かりやすく英語・フランス語で表記し、展示の説明文に関しては冊子を製作し配布した。

尚、この展示は対海外の観光客に対しての展示説明のパンフレットを製作していることにより、1階展示は常設とする。

展示期間：平成30年4月～平成31年（令和元年）現在

② 米子市本部「がんび舎」より、全国和紙ちぎり絵サークル主宰 故亀井健三氏の「ヒロシマ3部作」及び宮崎純子氏の多数の和紙ちぎり絵作品が寄贈され、1階ロビーと階段壁面に作品を展示した。

展示期間：平成30年12月～

2. 和紙普及活動

① 手すき和紙伝習所において

・紙すき体験の受入れ

予約制で一人から学校団体まで受入れ、人数と時間によって紙すき内容を変え対応した。八雲幼稚園・保育園小学校・中学校、及び松江市内保育園幼稚園等が卒業証書を渡した。

近年境港に大型客船が寄港し、海外からの観光客が増加した。特にフランス語圏、英語語圏が増加したが、当館のスタッフが少ないため、ボランティア団体の援助を受けた。

② 「紙樂塾」（しがくじゅく）の開催

一般参加の和紙工芸体験を開催。ロビーにおける少人数の体験が多く、照明器具（あかり）作り、たこ作り、型染め体験、うちわ作りなど実施。

また、八雲塾「紙ってどうして出来るの？三極皮はぎから紙すきまで」（第29回）を2月9日に開催、年に1度の冬の風物詩。紙の原木三極を古式の方法で蒸し、皮をはぎ、紙料を作り、紙すきまでの工程を体験した。八雲公民館・一般より40名参加

③ 松江地域おこし協力隊による和紙商品開発とワークショップの開催（不定期）

第 29 回三極皮剥ぎから紙漉きまででは、漉いた和紙でキャンディーライトのワークショップを開催した。

また、出雲民芸紙を使った新たな商品の発案や、手漉き和紙伝習所において和紙の製作から商品までの開発も手掛けた。

3. 調査研究活動

① 重要文化財「菅田庵及び向月亭 附御風呂屋」の襖紙の調査の経緯について

松江市菅田町にある国の重要文化財「菅田庵及び向月亭 附御風呂屋」の修復に関して、請負業者・公益財団法人 文化財建造物保存技術協会より依頼があり、向月亭の襖紙の調査を依頼された。前回の昭和 22 年から 24 年の修復に関して資料がなかったが、33 年前に安部榮四郎の和紙を整理した際の「菅田庵の襖紙」と記した紙の切れ端があった記憶をたどり、著書を調べると昭和 27 年刊行の「出雲の紙」に次のような一文があった。

昭和 24 年には当時国宝に指定されていた茶室菅田庵の修築が終わり、ふすまの紙の製作を依頼された。これは建築当時そのままの面影を伝えるという趣旨から、各種顔料を交えてもとの薄浅黄色を復元した。

このような経緯を鑑み、後日理事長安部信一郎と学芸員で現地を見学、高知県立紙産業技術センターに繊維の分析を依頼した。

復元を依頼され、安部信一郎が 4 回試作した。出雲民芸紙には無い色なので、顔料や染料の混合により当時の色の再現に努力した。

原料の処理及び製造工程、顔料の配合など記録し、今後の修復時に再現できるよう情報の記録は大切な課題になるので、次年度は記録をまとめることが重要である。

このように文化財の修復においても和紙は欠かせない材料である。和紙のはくぶつかん・安部榮四郎記念館としても、様々な文化財等の調査に加わり、情報の記録をしていくことが、和紙の評価や重要性を周知する大切な役目と認識している。

【収益事業】

平成 30 年度は昨年度に比べ売店収入が大きく減少した。交流事業によってもたらされた収益に代わるものをつくることができなかった。

手漉き和紙伝習所をクラフト作家門脇氏と元地域おこし隊の豊田氏に創作の場として提供し協力して商品の開発に取りくんだ。あわせて両氏がそれぞれ参加されたワークショップで出雲民芸紙を展示販売していただきワークショップのお客さんとともにワークショップ出店者に出雲民芸紙を紹介していただいた。12 月 16 日の「紙の日」に八雲町のかやぶき交流館において門脇氏の呼びかけでクラフト作家の方々に集まっていただいてワークショップを開催した。

(株) しゅんこうより記念碑設置に伴う土地賃貸料が今年度もはいった。

【法人事業】

1. 役員会の開催

- ・平成 30 年 5 月 22 日に理事会を開催した。

- ・平成30年6月10日に評議員会を開催した。
- ・平成31年3月1日に理事会を開催した。
- ・平成31年3月17日に決議の省略の方法により臨時評議員会を開催した。

2、平成30年5月15日に記念館監事による監査がおこなわれた。

3、平成31年2月4日に県の立ち入り検査が行われた。

検査の結果、法人運営等で法律違反がないことが確認された。

あわせて法人運営等にあって、以下の3点の助言を口頭で受けた。

- ① 法律上事務所に保管しておかなければならない書類の中で日付の記載されていないものが何点あったので、文書管理をきちんと行うこと。
- ② 入館料等現金の確認を一人でおこなっているが、週に1回は複数で現金確認をおこなうようにすること。
- ③ 100万円を超える事業を実施する場合は、見積書を付けた稟議書を作成し理事長に承認をとり事業終了後の支払いの稟議書といっしょに保管すること。

4、記念館庭のフェンスの取り換えと本館と伝習所の間のフェンスの修繕を行った。

5、本館入り口の屋根と屋根をささえる柱の修繕をおこなった。

入館者数

有 料

無 料

	個人料金入館者数				割引料金入館者数				小計		
月日	大人	大高生	中小生	計	大人	大高生	中小生	計			合計
4月計	27	0	3	30	23	1	6	30	60	18	78
5月計	22	1	1	24	87	0	4	91	115	61	176
6月計	13	0	1	14	173	31	2	206	220	32	252
7月計	14	0	0	14	62	8	18	88	102	62	164
8月計	56	0	23	79	26	6	12	44	123	44	167
9月計	14	0	0	14	39	0	97	136	150	45	195
10月計	20	0	0	20	49	1	75	125	145	86	231
11月計	48	0	0	48	15	0	0	15	63	348	411
12月計	16	4	5	25	5	0	0	5	30	73	103
1月計	11	0	0	11	4	0	0	4	15	21	36
2月計	9	0	0	9	2	33	0	35	44	74	118
3月計	7	1	5	13	48	0	19	67	80	18	98
合計	257	6	38	301	533	80	233	846	1147	882	2029
前年度比	86	35	60	79	88	151	75	88	85	87	86
2017年度	299	17	63	379	603	53	309	965	1344	1017	2361

体験教室参加者数

	有 料				無料	
月日	大人	大高生	中小生	幼児		合計
4 月	24	0	9	1	2	36
5 月	103	0	1	0	16	120
6 月	120	29	2	3	2	156
7 月	2	8	1	16	10	37
8 月	16	6	39	3	0	64
9 月	16	0	15	3	0	34
10 月	23	1	74	35	19	152
11 月	38	0	132	58	0	228
12 月	4	0	0	0	2	6
1 月	0	0	0	0	4	4
2 月	4	23	0	0	35	62
3 月	11	0	24	1	0	36
合計	361	67	297	120	90	935
前年比	75	86	57	91	55	68
2017 年度	483	78	525	132	164	1382

決算報告書

第 36 期

自 平成 30 年 4 月 1 日

至平成31年3月31日

公益財団法人 安部榮四郎記念館

松江市八雲町東岩坂 1 7 5 4

貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	88,754	68,236	20,518
預 金	7,837,252	10,861,186	Δ3,023,934
前 払 金	38,400	51,200	Δ12,800
仮 払 金	6,780	0	6,780
流 動 資 産 合 計	7,971,186	10,980,622	Δ3,009,436
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
土 地	3,823,307	3,823,307	0
利 付 国 債	20,000,000	20,000,000	0
所 蔵 品	157,048,500	157,048,500	0
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
基 本 財 産 合 計	190,871,807	190,871,807	0
(2) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	99,083,856	98,479,806	604,050
構 築 物	7,263,126	6,857,176	405,950
什 器 備 品	5,109,320	6,081,940	Δ972,620
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,999	0
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	890,000	0
減 価 償 却 累 計 額	Δ97,088,939	Δ96,835,692	Δ253,247
電 話 加 入 権	81,140	81,140	0
そ の 他 固 定 資 産 合 計	25,148,502	25,364,369	Δ215,867
固 定 資 産 合 計	216,020,309	216,236,176	Δ215,867
資 産 合 計	223,991,495	227,216,798	Δ3,225,303
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
前 受 金	11,000,000	12,000,000	Δ1,000,000
預 り 金	43,332	48,000	Δ4,668
売 店 預 り 金	254,286	173,899	80,387
流 動 負 債 合 計	11,297,618	12,221,899	Δ924,281
負 債 合 計	11,297,618	12,221,899	Δ924,281
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	212,693,877	214,994,899	Δ2,301,022
(内 基 本 財 産 へ の 充 当 額)	(190,871,807)	(190,871,807)	(0)
正 味 財 産 合 計	212,693,877	214,994,899	Δ2,301,022
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	223,991,495	227,216,798	Δ3,225,303

財 産 目 録

平成 31 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現金・預金	手元保管		運転資金として	88,754
現 金	島根県農協／八雲支店		運転資金として	454,195
普 通 預 金	山陰合同銀行／古志原支店		運転資金として	294,869
	八雲郵便局		運転資金として	67,505
	振替口座①		運転資金として	387
	振替口座②		運転資金として	12,957
	山陰合同銀行／八雲代理店			626
定期預金	山陰合同銀行／八雲			6,006,613
	山陰合同銀行／八雲			1,000,100
前払金	国債額面価額超過額未経過分			38,400
	誤納源泉所得税			6,780
流動資産合計				7,971,186
2 固 定 資 産				
(1) 基本財産	設立者寄付土地（記念館敷地）	1191.07 m	公益目的保有で、記念館敷地使用	3,823,307
土地				20,000,000
利付国債	設立者寄付所蔵品	817 点	公益目的保有で、展示事業に使用	157,048,500
所蔵品	島根県農協／八雲支店			10,000,000
定期預金				
基本財産合計				190,871,807
(2) その他固定資産				
建物	記念館	434.08 m	公益目的保有で、1 階に売店あり	89,203,856
	伝習所	77.53 m	公益目的保有で、体験教室使用	5,680,000
	伝習所	17.57 m	公益目的保有で、体験教室使用	4,200,000
構築物	庭園、塀、舗装路面、防壁			7,263,126
什器備品	応接セット、滑棚、陳列台ほか			5,109,320
建物付属設備	電気、災害報知、給排水設備			9,809,999
手渡し和紙伝習設備	手渡し和紙伝習設備		公益目的保有で、体験教室使用	890,000
減価償却累計額	減価償却累計額			697,088,939
電話加入権	電話加入権			81,140
その他固定資産合計				25,148,502
固定資産合計				216,020,309
資産合計				223,991,495
II 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
前受金	俵しゅんこう 前受貸賃料			11,000,000
預り金	源泉所得税		31年1～3月分	5,432
	社会保険料		31年2～3月分	37,900
売店預り金	受託販売			254,286
流動負債合計				11,297,618
負債合計				11,297,618
正味財産				212,693,877

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項ありません。

7. 重要な後発事象

該当事項ありません。

8. その他

前受金を原資とする定期預金の預金利子収入は、収益事業として計上してある。

収 支 計 算 書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I、一般正味財産増減の部			
1、経常増減の部			
(1)経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	202,500	201,000	1,500
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0
②事業収益			0
入館料収入	450,000	466,200	△ 16,200
伝習所運営収入	700,000	654,286	45,714
売店収入	1,500,000	1,424,870	75,130
③受取補助金等			0
受取地方公共団体補助金	419,000	0	419,000
④受取寄付金			0
受取寄付金	1,600,000	1,217,958	382,042
⑤雑収益			0
受取利息	200	806	△ 606
雑収入	10,000	9,696	304
経常収益計	5,881,700	4,974,816	906,884
(2)経常費用			
①事業費			
事業経費			
給料手当	1,460,000	1,459,200	800
臨時雇用賃金	600,000	571,590	28,410
福利厚生費	280,000	260,733	19,267
旅費交通費	25,000	21,950	3,050
通信運搬費	190,000	149,912	40,088
減価償却費	1,144,282	1,214,112	△ 69,830
消耗品費	110,000	68,819	41,181
修繕費	1,000,000	32,398	967,602
印刷製本費	500,000	482,760	17,240
光熱水料費	450,000	457,236	△ 7,236
賃借料	300,000	269,638	30,362
保険料	120,000	86,106	33,894
諸謝金	50,000	20,000	30,000
雑費	480,000	422,952	57,048
広告宣伝費	71,000	75,917	△ 4,917
調査研究費	22,000	0	22,000

研修教材費	600,000	610,479	△ 10,479
事業費計	7,402,282	6,203,802	1,198,480
②管理費			
福利厚生費	0	10,000	△ 10,000
会議費	30,000	24,280	5,720
通信運搬費	55,000	53,887	1,113
減価償却費	58,281	11,755	46,526
消耗品費	12,000	12,623	△ 623
修繕費	100,000	3,600	96,400
光熱水料費	6,000	4,666	1,334
賃借料	50,000	53,038	△ 3,038
保険料	1,000	846	154
諸謝金	260,000	218,880	41,120
租税公課	3,000	0	3,000
負担金	250,000	134,700	115,300
支払利息	13,000	12,800	200
雑費	250,000	144,061	105,939
寄付金	10,000	10,000	0
管理費計	1,098,281	695,136	403,145
経常費用計	8,500,563	6,898,938	1,601,625
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,618,863	△ 1,924,122	△ 694,741
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,618,863	△ 1,924,122	△ 694,741
2、経常外増減の部			
(1)経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 2,618,863	△ 1,924,122	△ 694,741
法人税、住民税及び事業税	376,900	376,900	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,995,763	△ 2,301,022	△ 694,741
一般正味財産期首残高	214,994,899	214,994,899	0
一般正味財産期末残高	211,999,136	212,693,877	△ 694,741
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	211,999,136	212,693,877	△ 694,741

正味財産増減計算書

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(1,201,000)	(1,202,500)	(Δ1,500)
基本財産受取利息	201,000	202,500	Δ1,500
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0
② 事業収益	(2,545,356)	(3,504,550)	(Δ959,194)
入館料収入	466,200	457,600	8,600
伝習所運営収入	654,286	792,984	Δ138,698
売店収入	1,424,870	2,253,966	Δ829,096
③ 受取補助金等	(0)	(419,000)	(Δ419,000)
受取地方公共団体補助金	0	419,000	Δ419,000
④ 受取寄付金	(1,217,958)	(1,717,758)	(Δ499,800)
受取寄付金	1,217,958	1,717,758	Δ499,800
⑤ 雑収益	(10,502)	(15,268)	(Δ4,766)
受取利息	806	2,778	Δ1,972
雑収入	9,696	12,490	Δ2,794
経常収益計	4,974,816	6,859,076	Δ1,884,260
(2) 経常費用			
① 事業費	(6,203,802)	(7,321,834)	(Δ1,118,032)
事業経費	(6,203,802)	(7,321,834)	(Δ1,118,032)
給料手当	1,459,200	1,536,000	Δ76,800
臨時雇賃金	571,590	363,840	207,750
福利厚生費	260,733	231,660	29,073
旅費交通費	21,950	14,200	7,750
通信搬費	149,912	173,651	Δ23,739
減価償却費	1,214,112	1,210,083	4,029
消耗品費	68,819	96,734	Δ27,915
修繕費	32,398	1,358,787	Δ1,326,389
印刷製本費	482,760	388,800	93,960
光熱水料費	457,236	479,207	Δ21,971
賃借料	269,638	256,904	12,734
保険料	86,106	96,640	Δ10,534
諸謝金	20,000	75,000	Δ55,000
雑費	422,952	471,811	Δ48,859
広告宣伝費	75,917	45,900	30,017
調査研究費	0	21,720	Δ21,720
研修教材費	610,479	500,897	109,582
事業費計	6,203,802	7,321,834	Δ1,118,032

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
福 利 厚 生 費	10,000	0	10,000
会 議 費	24,280	18,222	6,058
通 信 運 搬 費	53,887	40,787	13,100
減 価 償 却 費	11,755	11,625	130
消 耗 品 費	12,623	8,305	4,318
修 繕 費	3,600	147,413	△143,813
光 熱 水 料 費	4,666	4,880	△214
貸 借 料	53,038	19,656	33,382
保 険 料	846	952	△106
諸 謝 金	218,880	286,200	△67,320
租 税 公 課	0	3,020	△3,020
負 担 金	134,700	320,945	△186,245
支 払 利 息	12,800	12,800	0
雑 費	144,061	253,827	△109,766
寄 付 金	10,000	10,000	0
管 理 費 計	695,136	1,138,632	△443,496
経 常 費 用 計	6,898,938	8,460,466	△1,561,528
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,924,122	△1,601,390	△322,732
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	△1,924,122	△1,601,390	△322,732
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△1,924,122	△1,601,390	△322,732
法人税、住民税及び事業税	376,900	360,100	16,800
当期一般正味財産増減額	△2,301,022	△1,961,490	△339,532
一般正味財産期首残高	214,994,899	216,956,389	△1,961,490
一般正味財産期末残高	212,693,877	214,994,899	△2,301,022
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	212,693,877	214,994,899	△2,301,022

正味財産増減計算書内訳表

平成 30 年 4 月 1 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	
	公益目的事業	小計	売却等事業	貸付事業	小計	法人管理	小計
1 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常増減の部							
① 基本財産の増減	()	()	()	1,000,000 ()	1,000,000 ()	201,000 ()	201,000 ()
基本財産の減	0	0	0	0	0	201,000	201,000
基本財産の増	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0
② 事業用財産の増減	()	()	()	()	()	()	()
事業用財産の減	1,120,486 ()	1,120,486 ()	1,424,870 ()	0 ()	1,424,870 ()	0 ()	0 ()
事業用財産の増	466,200	466,200	0	0	0	0	0
③ 受取利息	654,286	654,286	0	0	0	0	0
④ 受取利息	0	0	1,424,870	0	1,424,870	0	0
⑤ 受取利息	617,958 ()	617,958 ()	600,000 ()	0 ()	600,000 ()	0 ()	0 ()
⑥ 受取利息	617,958	617,958	600,000	0	600,000	0	0
⑦ 受取利息	0 ()	0 ()	9,696 ()	0 ()	9,696 ()	806 ()	806 ()
⑧ 受取利息	0	0	0	0	0	806	806
⑨ 受取利息	0	0	9,696	0	9,696	0	0
⑩ 受取利息	1,738,444	1,738,444	2,034,566	1,000,000	3,034,566	201,806	201,806
(2) 経常増減の部							
① 事業用財産の増減	()	()	()	()	()	()	()
事業用財産の減	4,435,258 ()	4,435,258 ()	1,768,544 ()	0 ()	1,768,544 ()	0 ()	0 ()
事業用財産の増	729,600	729,600	729,600	0	729,600	0	0
② 事業用財産の増減	285,795	285,795	285,795	0	285,795	0	0
③ 事業用財産の増減	131,633	131,633	129,100	0	129,100	0	0
④ 事業用財産の増減	12,050	12,050	9,900	0	9,900	0	0
⑤ 事業用財産の増減	105,138	105,138	44,774	0	44,774	0	0
⑥ 事業用財産の増減	1,167,111	1,167,111	47,001	0	47,001	0	0
⑦ 事業用財産の増減	63,486	63,486	5,333	0	5,333	0	0
⑧ 事業用財産の増減	28,798	28,798	3,600	0	3,600	0	0
⑨ 事業用財産の増減	77,760	77,760	405,000	0	405,000	0	0
⑩ 事業用財産の増減	438,787	438,787	18,449	0	18,449	0	0
⑪ 事業用財産の増減	248,568	248,568	21,070	0	21,070	0	0
⑫ 事業用財産の増減	82,727	82,727	3,379	0	3,379	0	0
⑬ 事業用財産の増減	20,000	20,000	0	0	0	0	0
⑭ 事業用財産の増減	357,409	357,409	65,543	0	65,543	0	0
⑮ 事業用財産の増減	75,917	75,917	0	0	0	0	0

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計		法人会計		
	公益目的事業	小計	売店等事業	賃貸事業	小計	法人管理	小計
研究事業 ② 管理 修業 利会 通会 減価 消耗 修繕 光熱 賃借 質保 諸費 私利 支利 雑寄 管理 経常 評価損益等調整前当期経常増減額 評価損益等調整後当期経常増減額 当期経常増減額	610,479	610,479	0	0	0	0	0
	4,435,258	4,435,258	1,768,544	0	1,768,544	0	0
	0	0	0	0	0	10,000	10,000
	0	0	0	0	0	24,280	24,280
	0	0	0	0	0	53,887	53,887
	0	0	0	0	0	11,755	11,755
	0	0	0	0	0	12,623	12,623
	0	0	0	0	0	3,600	3,600
	0	0	0	0	0	4,665	4,665
	0	0	0	0	0	53,038	53,038
	0	0	0	0	0	846	846
	0	0	0	0	0	218,880	218,880
	0	0	0	0	0	134,700	134,700
	0	0	0	0	0	12,800	12,800
	0	0	0	0	0	144,061	144,061
0	0	0	0	0	10,000	10,000	
0	0	0	0	0	695,136	695,136	
4,435,258	4,435,258	1,768,544	0	1,768,544	695,136	695,136	
42,696,814	42,696,814	266,022	1,000,000	1,266,022	4493,330	4493,330	
0	0	0	0	0	0	0	
42,696,814	42,696,814	266,022	1,000,000	1,266,022	4493,330	4493,330	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
633,011	633,011	4133,011	4500,000	6633,011	0	0	
42,063,803	42,063,803	133,011	500,000	633,011	4493,330	4493,330	
0	0	0	0	0	376,900	376,900	
42,063,803	42,063,803	133,011	500,000	633,011	4870,230	4870,230	
48,824,586	48,824,586	468,846,930	500,000	468,346,930	292,166,415	292,166,415	
410,888,389	410,888,389	468,713,919	1,000,000	467,713,919	291,296,185	291,296,185	

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	
	公益目的事業	小計	売店等事業	賃貸事業	小計	法人管理	小計	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	△10,888,389	△10,888,389	△68,719,919	1,000,000	△67,719,919	291,296,185	291,296,185	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	3,823,307	0	0	3,823,307
利付国債	20,000,000	0	0	20,000,000
所蔵品	157,048,500	0	0	157,048,500
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
合 計	190,871,807	0	0	190,871,807

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地	3,823,307	0	3,823,307	0
利付国債	20,000,000	0	20,000,000	0
所蔵品	157,048,500	0	157,048,500	0
定期預金	10,000,000	0	10,000,000	0
合 計	190,871,807	0	190,871,807	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	99,083,856	75,128,274	23,955,582
構築物	7,263,126	6,651,356	611,770
什器備品	5,109,320	4,609,314	500,006
建物付属設備	9,809,999	9,809,999	3
手漉和紙伝習設備	890,000	889,999	1
電話加入権	81,140	0	81,140
合 計	122,237,441	97,088,939	25,148,502

5. 保証債務等の偶発債務

該当事項ありません。

監査報告書

公益財団法人 安部榮四郎記念館

理事長 安部信一郎 殿

令和元年 5月 27日

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事 長島 譲 

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事 長澤 廣朋 

私たち監事は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

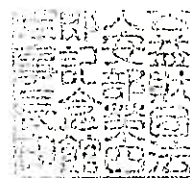
2、監査意見

(1)事業報告の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。



公益財団法人安部榮四郎記念館

令和 1 年第 1 回理事会議事録

- 1 開催日時 令和 1 年 5 月 31 日（金）12 時～13 時 30 分
- 2 開催場所 五幸和室 （松江市上乃木 4 丁目 21-7）
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 6 名、 定足数 4 名
- 4 出席理事数 5 名
（本人出席） 安部信一郎 澤田暉夫 米田裕幸 青砥誠一 安部紀正
（監事出席） 長島 譲
（欠席理事） 藤田彰裕
- 5 議 案 第 1 号議案「平成 30 年度事業報告」の件
第 2 号議案「平成 30 年度決算及び財務諸表」の件
第 3 号議案「任期満了にともなう記念館理事選任候補者推薦名簿」の件
第 4 号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件

6 議事の経過及びその結果

（1）定足数の確認等

冒頭で安部理事長が定足数の充足を確認し、続いて同理事長から本会議の議事進行及び議案資料について説明があった。

（2）議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、安部理事長が議長となり、本会議の成立を宣し、議案の審議に移った。

議事録署名人は、定款第 40 条の規定にもとづき、安部信一郎理事長、長島譲監事とし、議案の審議に移った。

第 1 号議案「平成 30 年度事業報告」の件

第 2 号議案「平成 30 年度決算及び財務諸表」の件

理事長より資料にもとづき第 1 号議案ならびに第 2 号議案について詳細説明があった。

記念館の展示は、前年度の展示を引き継ぎ収蔵品での企画展の開催だったので興味を持たれるようなインパクトのある展示にならず、前年度に比べ入館者が減少したことが報告された。ただし、12 月よりちぎり絵作家の亀井先生と宮崎先生の作品の展示をおこなったことで、ちぎり絵関係の方の来館が増えたことが報告された。

また、境港に入港するクルーズ船からの来館者（主にフランス語圏の方）があり今後増加する可能性があることが報告された。

入館者が減少した影響で伝習所収入、売店収入が前年度に比べ減少したことが報告された。特に和紙本制作が前年度に終了したため売店収入が大きく減少したことが報告された。

続いて議長の求めに応じて、長島監事より監査方法の概要及び監査意見として、財務諸表等が会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産状況を正しく示していること、事業報告の内容が事実であることが報告された。

審議の結果、第 1 号議案及び第 2 号議案のいずれも原案通り出席理事全員一致で可決承

認した。

第3号議案「任期満了にともなう記念館理事選任候補者推薦名簿」の件

議長が、記念館理事が任期満了をむかえるので、定時評議員会に対して理事の選任候補者を理事会として推薦したいとのべ候補者名簿を提案した。

審議の結果、理事選任推薦候補者名簿を原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

第4号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件

議長より、評議員会を下記の要領にて召集する旨、定款に基づき本理事会にて決議したいとの説明があった。

日時 令和1年6月16日(日)午後12時開始

場所 五幸

目的である事項等

- ・平成30年度事業報告の件
- ・平成30年度決算及び財務諸表の件
- ・理事の選任の件
- ・その他

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

以上を持って議案の審議等を終了したので、13時30分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和1年5月8日

代表理事

安部信一郎

監事

長島 謙





公益財団法人安部榮四郎記念館

令和1年第1回定時評議員会議事録

- 1 開催日時 令和1年6月16日(日)12時～13時30分
- 2 開催場所 五幸
- 3 評議員現在数及び定足数
現在数 6名 定足数 4名
- 4 出席評議員数 6名
(本人出席) 石原英紀 杉原登司夫 藤田 勝 野坂 裕 永原和男 矢野初二
(監事出席) 長島謙 長澤廣朋
(その他出席) 安部信一郎 安部紀正
- 5 議案 第1号議案「平成30年度事業報告」の件
第2号議案「平成30年度決算及び財務諸表」の件
第3号議案「任期満了に伴う理事の選任」の件
- 6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

安部信一郎理事長が開会のあいさつをおこなった。

続いて安部信一郎理事長が定足数の充足を確認し、本会議の議事進行及び議案資料について説明をおこなった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

安部信一郎理事長が定款第21条に基づき出席評議員の中から議長を選出するように求めた。審議の結果藤田勝評議員を議長とすることを全員一致で決定した。

藤田勝評議員が議長席につき、あらためて本会議の成立を宣し議案の審議に移った。

議事録署名人は、定款第25条にもとづき、議長である藤田勝評議員とした。

第1号議案「平成30年度事業報告」の件

第2号議案「平成30年度決算及び財務諸表」の件

議長が、第1号議案と第2号議案は関係するのであわせて審議したいとのべ、第1号議案及び第2号議案について安部信一郎理事長に説明するように求めた。

求めに応じ資料に基づき安部信一郎理事長が詳細説明をおこなった。

続いて議長が、長島監事に対して監査報告をおこなうよう求めた。

求めに応じ長島監事が監査報告をおこなった。

審議の結果、第1号議案及び第2号議案いずれも原案通り出席評議員全員一致承認した。

第3号議案「任期満了に伴う理事の選任」の件

議長が、この評議員会終了をもって任期満了となる理事の選任が必要だと述べ、選任方法についてはかったところ、理事会の意向を聞いてみたいとの意見がだされ、出席評議員全員一致で理事会の意向を聞くこととなった。求めに応じて安部信一郎理事長は5月31日に開催した理事会で推薦することとなった理事候補者の名簿を提出した。議長より理事会から提出された名簿に基づき審議してはどうだろうかとの提案があり、出席評議員全員一致で理事会から提案された名簿に基づき一人一人審議を行うこととなった。審議の結果、藤田彰裕は出席評議員全員一致で選任された。米田裕幸は出席評議員全員一致で選任された。青砥誠一は出席評議員全員一致で選任された。澤田暉夫は出席評議員全員一致で選任



された。安部信一郎は出席評議員全員一致で選任された。安部紀正は出席評議員全員一致で選任された。

以上をもって議案の審議を終了したので、13時30分議長は閉会を宣し評議員会は終了した。

以上この議事録が正確であることを証するために、議長は記名押印する。

令和1年 6 月 16 日

議長

藤田 隆



公益財団法人 安部榮四郎記念館

令和1年第2回理事会

1、開催日時 令和1年6月16日(日) 13時40分～14時

2、開催場所 五幸

3、理事総数及び定数

総数 6名、 定足数 4名

4、出席理事数 6名

(出席) 安部信一郎、青砥誠一、澤田暉雄、安部紀正、米田裕幸 藤田彰裕

(監事出席) 長澤廣朋 長島 譲

5、議案

決議事項

第1号議案 「代表理事(理事長)の選定」の件

第2号議案 「安部榮四郎記念館の館長の選任」の件

6、会議の概要

(1) 定足数の確認等

冒頭で安部信一郎理事より、本理事会は理事及び監事全員の同意があったので、招集の手続きを経ることなく開催する旨宣言し開催した。続いて理事総数6名中、現在6名が出席であること、したがって開催要件の定足数たる過半数4名以上を充足していることを確認し、安部信一郎理事から本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

安部信一郎理事が互選によって議長を決めていただきたいと提案し、互選の結果安部信一郎理事が議長に就任した。

安部信一郎理事が議長席につき本会議の成立を宣し、議案の審議に移った。

○ 決議事項

第1号議案 「代表理事(理事長)の選定」の件

議長が代表理事(理事長)の選定をお願いしたいと提案した。

審議の結果、安部信一郎理事を出席理事全員一致で代表理事(理事長)とすることを可決した。選定された安部信一郎理事は就任を承諾した。

第2号議案「安部榮四郎記念館の業務執行理事(館長)の選任」の件

議長が安部榮四郎記念館の館長の選任をお願いしたいと提案した

審議の結果、安部紀正理事を出席理事全員一致で館長とすることを可決した。

選任された安部紀正理事は就任を承諾した。

以上をもって議案の審議等を終了したので、14時、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和1年 6月16日

代表理事

安部信一郎

印



監事

長島 譲

印

監事

長澤廣朋

印

